

報道関係各位

## 情報アーキテクチャ (IA) とユーザーエクスペリエンス (UX) の認知度調査 ～「IA」「UX」とも言葉の認知はここ1年が圧倒的～

株式会社コンセント（本社：東京都渋谷区代々木、代表取締役社長：長谷川敦士）は、業務でWebに携わっている人を対象に、2009年夏に実施した「情報アーキテクチャ (IA) /ユーザーエクスペリエンス (UX) 認知度調査」の結果を公開しました。調査期間は2009年8月26日～8月27日。有効回答は186名から得られました。

今回の調査は、日本の実情を表すものとは言い切れませんが、傾向を把握するために用いることができます。

### 【調査結果の概要】

#### **Web業務に携わる人でも「IA」や「UX」について知らない人が約7割**

「IA」「UX」という言葉について知っているかどうかの質問に、「知らない」「あまり良く知らない」と答えた人は約7割にも上りました。

「IA」や「UX」の領域はWebに限られるものではありませんが、Web構築では欠かせないスキルや概念の一つとなっています。「IA」や「UX」は、欧米では企業側に専門部署や専任担当者として置かれるケースが多く、職種としても定着しています。しかし日本では、Web業務に関わる人の間でも、まだ言葉自体があまり認知されていないということが分かりました。

#### **「IA」「UX」の認知時期はここ1年が圧倒的**

「IA」や「UX」という言葉を知ったのはいつ頃かという質問では、「ここ1年ぐらい」という回答が6割を超えました。一方、3年以上前から知っている人は、「IA」では13.9%、「UX」ではわずか8.5%でした。

「IA」については、企業サイトが大規模化し、また構造が複雑になるにつれて認知がされていったと考えられ、最近では関心が高まっているようです。また、「UX」という考え方がWebをはじめ、サービスに対して浸透してきたのはごく最近のようです。

## 【調査概要】

- ・調査方法：インターネットリサーチ
- ・調査地域：全国
- ・調査対象：20歳以上で、業務でWebに関与している、会社員、経営者・役員の男女
- ・有効回答数：186サンプル（各セグメント31サンプルずつ）
- ・調査日時：2009年8月26日～8月27日
- ・セグメント：
  - 1：一般事務／営業事務・総務・企画
  - 2：経営企画／事業企画・経営管理／コンサルタント（会計／戦略など）・コンサルタント（IT関係）
  - 3：調査／マーケティング
  - 4：広報／IR
  - 5：情報システム・社内情報システム・SE・プログラマ・データベースエンジニア
  - 6：Webプロデューサー／ディレクター・Webデザイナー・クリエイター・デザイナー／コーディネーター

## ■テストスクリーニング

- テスト調査開始予定日： 8月24日（月）
- 性別：男性、女性
- 年齢：20歳以上
- 職業：会社員、経営者・役員
- 業種排除：調査会社、広告代理店
- 地域：全国
- 未既婚：指定なし
- 子供の有無：指定なし

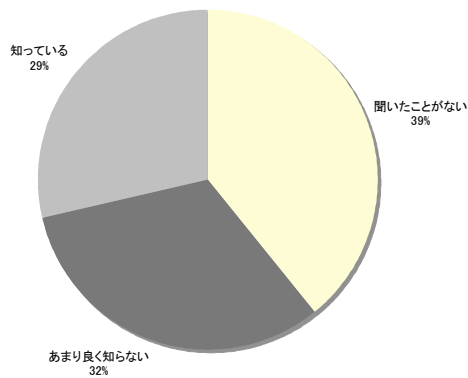
## [調査結果]

### ● 「IA」と「UX」の認知について

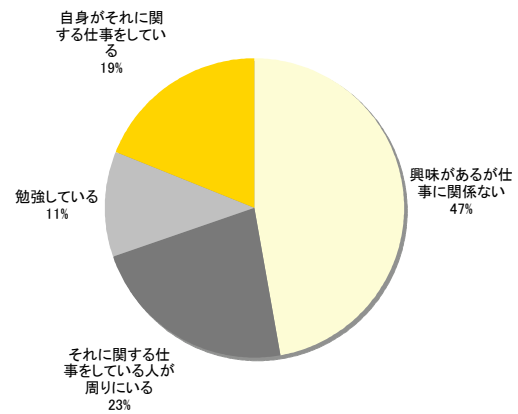
「IA（情報アーキテクチャ）」「UX（ユーザーエクスペリエンス）」の認知について、尋ねたところ、「IA」について知っていると回答した人29%、「UX」については26%にとどまりました。また「知っている」と回答した人でも「IA」で47%、「UX」で43%の人は興味はあるものの業務とは関係がないと回答しています。

[単一回答 n=186]

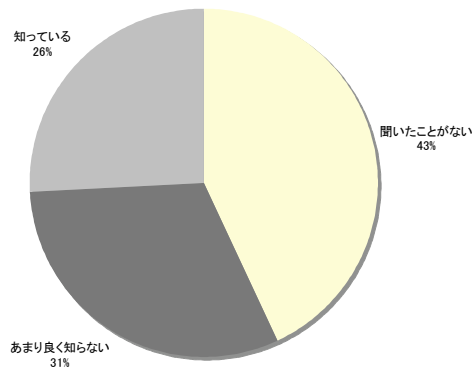
IAの認知度



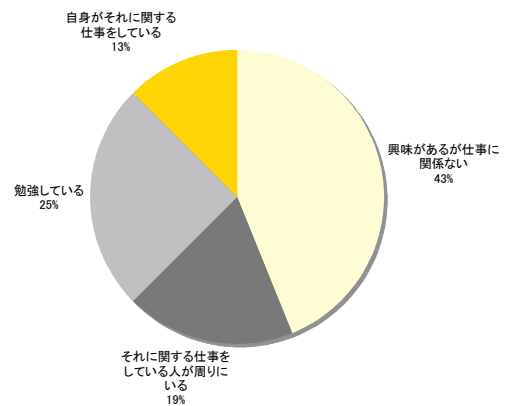
「IAについて知っている」と回答した人の認知程度の内訳



UXの認知度



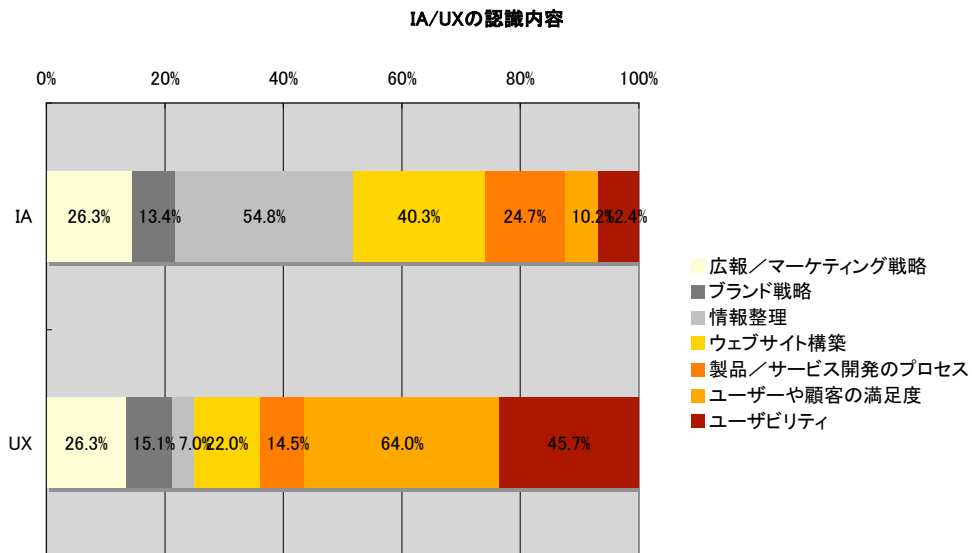
「UXについて知っている」と回答した人の認知程度の内訳



## ● 「IA」と「UX」のイメージ

それぞれの言葉が何に関係すると思うかを尋ねたところ、「IA」は情報整理に関するものと回答した人が最も多く54.8%、「UX」はユーザーや顧客の満足度と回答した人が64%でした。「UX」で2番目に多かったユーザビリティ（45.7%）は、IAでは12.4%にとどまり、IAはあまりユーザビリティと関連付けてイメージされていないようです。回答者には「IA」「UX」について知らないと回答した人も含まれているため、言葉の印象のみからの選択も含まれます。

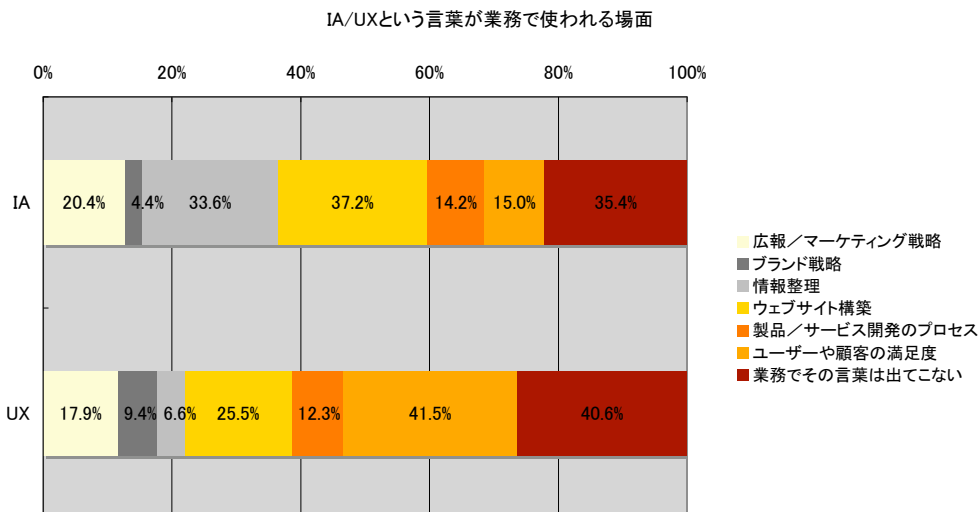
[複数回答 n=186]



## ● 「IA」「UX」という言葉が使われる業務場面について

「IA」「UX」について聞いたことがないと回答した人を除く全ての回答者に、「IA」「UX」という言葉が、自身の業務に関わらず、社内で見聞きする場面も含め、どのような場面で使われているかについて尋ねてみました。「IA」ではWebサイト構築に関する場面で（37.2%）、「UX」ではユーザーや顧客の満足度に関する場面で（41.5%）が最も多いことが分かりました。一方、「IA」はブランド戦略に関する文脈ではほとんど使われていない（4.4%）という結果が出ました（「UX」では9.4%）。

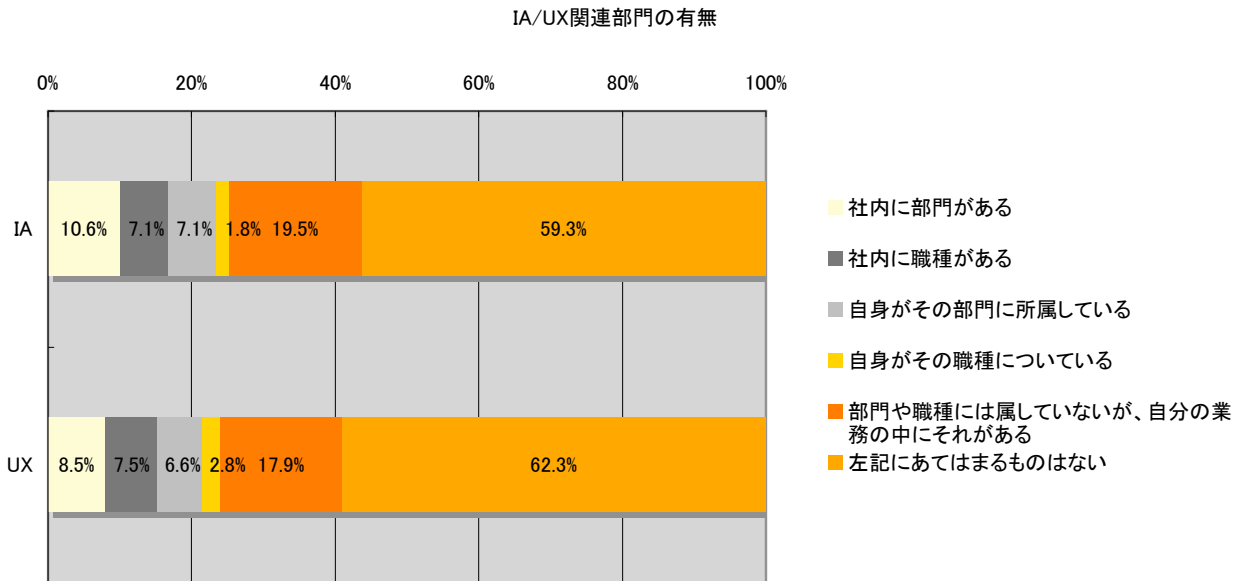
[複数回答 IAについて n=113、UXについて n=106]



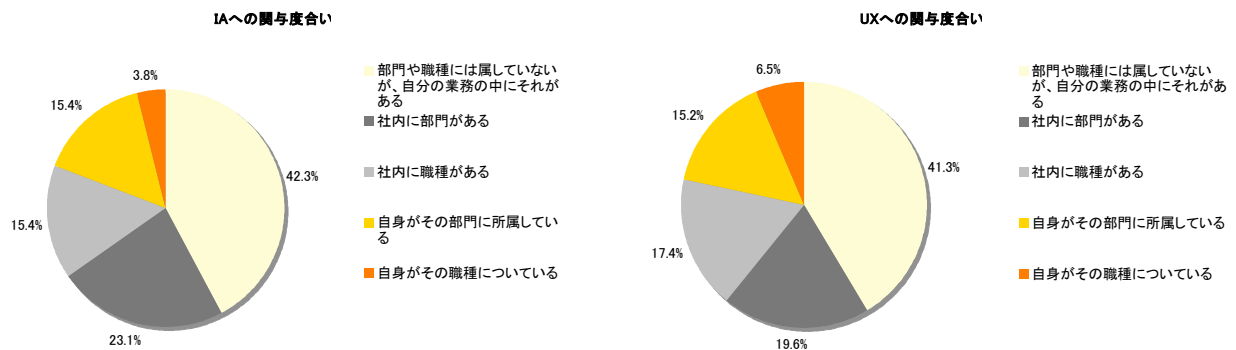
## ● 「IA」「UX」に関連する部門や職種の有無

「IA」「UX」について聞いたことがないと回答した人を除く全ての回答者に、「IA」「UX」に関連する部門や職種が社内にあるかどうかを尋ねたところ、「IA」で59.3%、「UX」で62.3%が当てはまる部門や職種はないという回答でした。また、「IA」「UX」に関連する部門や職種はない、あるいはあっても所属していないと回答した人でも、自分の業務の中に「IA」に関するものがあるとした人は42.3%、「UX」に関するものがあるとした人が41.3%にのびりました。専任の部門や職種としては存在しなくても、業務内での「IA」「UX」の必要性は高いようです。

[複数回答 IAについて n=113、UXについて n=106]



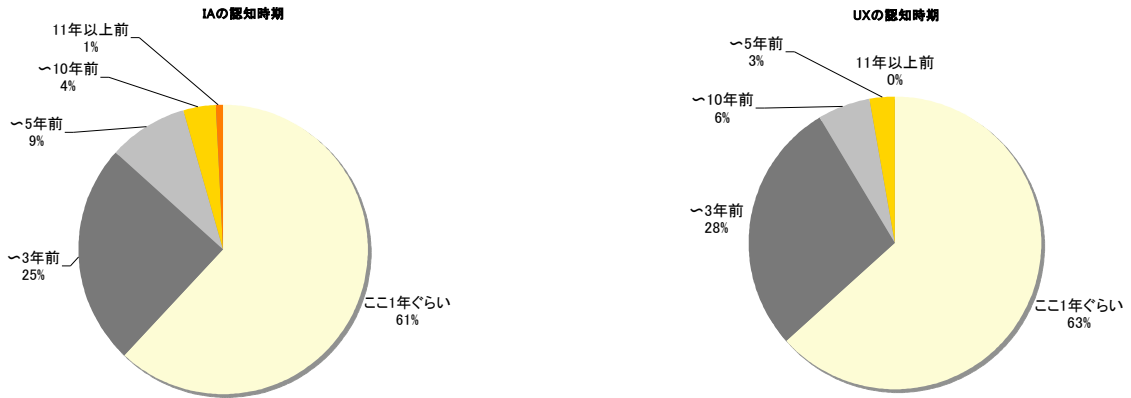
○上記結果のうち、「左記にあてはまるものはない」を除いた回答者の内訳



## ● 「IA」「UX」の認知時期について

「IA」「UX」について聞いたことがないと回答した人を除く全ての回答者に、「IA」「UX」という言葉をいつ頃知ったかを尋ねたところ、ここ1年ぐらいという回答が最も多く「IA」で61.9%、「UX」で63.2%という結果が得られ、比較的最近注目されはじめた言葉であることが分かります。

[複数回答 IAについて n=113、UXについて n=106]



以上

[調査詳細]

## 1. 所属企業の規模や属性による「IA」の認知に関する傾向

### 1-1. 所属企業の規模による傾向

「IA」について、何らかの形で認識している人のうち、積極的に関わっている（勉強している、自身がそれである）人は、全体的に非上場企業よりも上場企業の方が多く、また、資本金が高い方にその傾向が見られます。母数が多くないため絶対とは言い切れませんが、上場企業の場合はガバナンスに関する意識が高い、また大企業の方はサイト規模が大きい、といったことから「IA」の必要性が高いと考えることができそうです。「その他」はフリーランスの方などです。

(非上場企業に属する回答者数133名、上場企業42名、その他11名)

	上場	非上場	その他
聞いたことがない	28.6%	39.8%	72.7%
あまりよく知らない	35.7%	31.6%	27.3%
興味はあるが仕事に関係ない	11.9%	15.0%	0.0%
それに関する仕事をしている人がいる	9.5%	6.0%	0.0%
勉強している	4.8%	3.0%	0.0%
自身がそれである	9.5%	4.5%	0.0%

↓ 関与度高い

資本金高い →

	1000万円未満	3000万円未満	5000万円未満	1億円未満	5億円未満	5億円以上	その他
聞いたことがない	37.5%	50.0%	43.8%	42.1%	29.2%	32.0%	72.7%
あまりよく知らない	33.3%	27.8%	31.3%	36.8%	25.0%	36.0%	27.3%
興味はあるが仕事に関係ない	12.5%	16.7%	12.5%	10.5%	20.8%	14.0%	0.0%
それに関する仕事をしている人がいる	4.2%	0.0%	12.5%	10.5%	8.3%	8.0%	0.0%
勉強している	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	2.0%	0.0%
自身がそれである	4.2%	5.6%	0.0%	0.0%	12.5%	8.0%	0.0%

↓ 関与度高い

## 1-2. 所属企業の外資系か日系企業かによる傾向

「IA」について、何らかの形で認識している人のうち、積極的に関わっている（勉強している、自身がそれである）人は、日本企業よりも外資系企業の方が多いようです。日本企業よりも外資系企業の方が、「IA」が業務として定着しているのかもしれませんが。

※ただし、外資系は母数が少ないため、傾向として捉えるには注意が必要です。

（日本企業に属する回答者数163名、外資系16名、その他7名）

（単位：％）

	聞いたことがない	あまりよく知らない	興味はあるが仕事に関係ない	それに関する仕事をしている人がいる	勉強している	自身がそれである	総計
日本企業	38.7	33.7	12.3	7.4	3.1	4.9	100
外資系企業	37.5	31.3	18.8	0	0	12.5	100
その他	57.1	0	28.6	0	14.3	0	100

## 2. 職種とWebに関する立場別の「IA」の認知に関する傾向

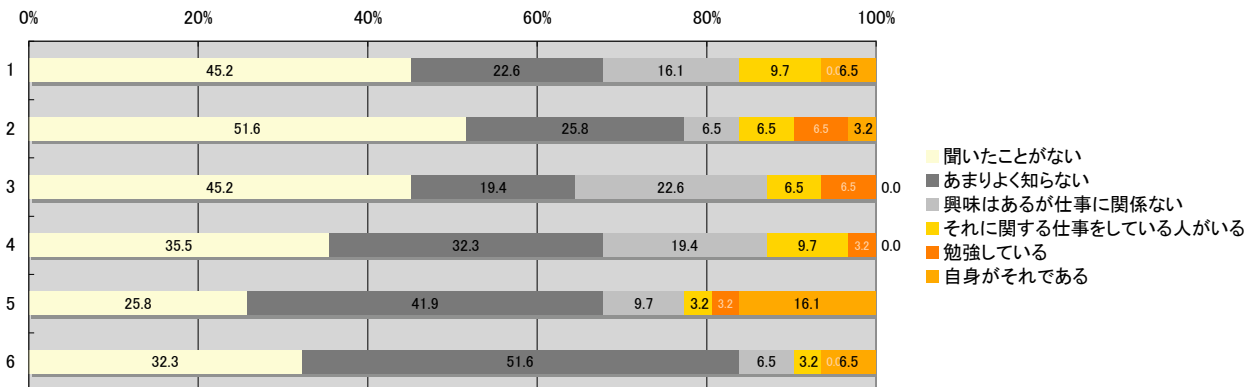
### 2-1. 回答者の職種による傾向

回答者属性（各属性とも31名ずつ）

- 1) Webプロデューサー／ディレクター・Webデザイナー・クリエイター／デザイナー／コーディネーター
- 2) 一般事務／営業事務・総務・企画
- 3) 経営企画／事業企画・経営管理／コンサルタント（会計／戦略など）・コンサルタント（IT関係）
- 4) 広報／IR
- 5) 情報システム・社内情報システム・SE・プログラマ・データベースエンジニア
- 6) 調査／マーケティング

「IA」について、何らかの形で認識している人のうち、IAに関わっている（自身がそれである、勉強している）人は、情報システム・社内情報システム・SE・プログラマ・データベースエンジニアのカテゴリーで最高となりました（16.1%）。ついで、Webプロデューサー／ディレクター・Webデザイナー・クリエイター／デザイナー／コーディネーターのカテゴリー および 調査／マーケティングのカテゴリーが、それぞれ6.5%となっています。

（単位：％）





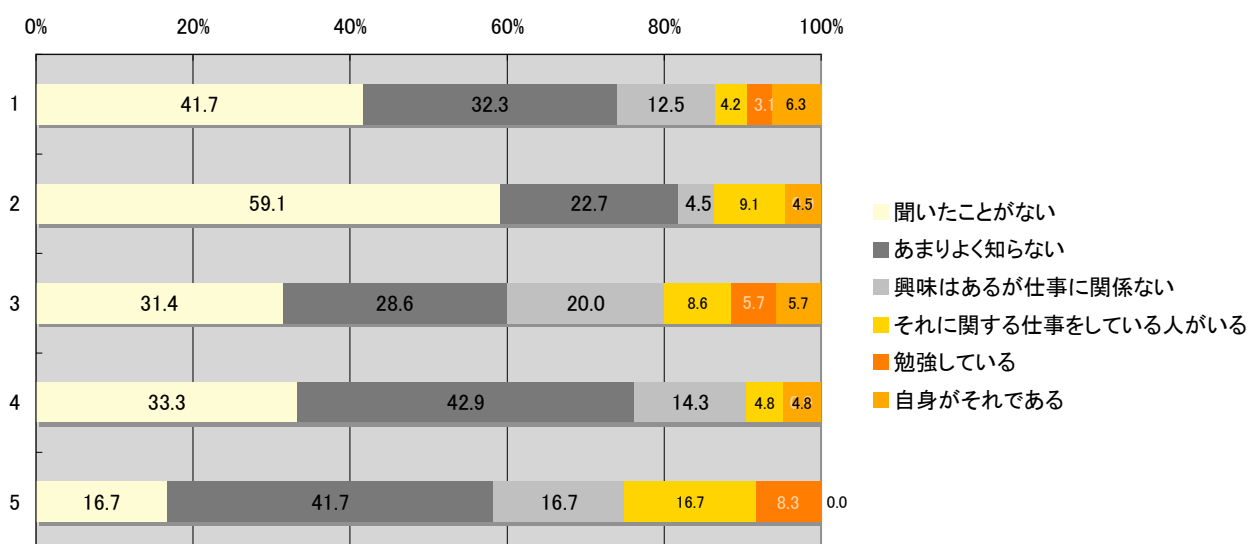
## 2-2. 回答者のWebに対する立場による傾向

外注先としてWebやイントラを企画／制作する立場の人では、「IA」について聞いたことがない人は、さすがに最も少ない結果となりました（16.7%）。受注業務としてWebに関わる人以外では「自社Webやイントラの管理／運用はしないが戦略の意思決定にかかわる立場」の人に、「IA」に興味を持っている人の割合が多いようです（20%）。

### 回答者のWebに対する立場

- 1) 自社Webサイトやイントラを管理／運用する立場（96名）
- 2) 自社Webやイントラの担当部門に情報を掲載してもらう立場（22名）
- 3) 自社Webやイントラの管理／運用はしないが戦略の意思決定に関わる立場（35名）
- 4) 内製で自社Webやイントラを企画／制作する立場（21名）
- 5) 外注先としてWebやイントラを企画／制作する立場（12名）

（単位：％）



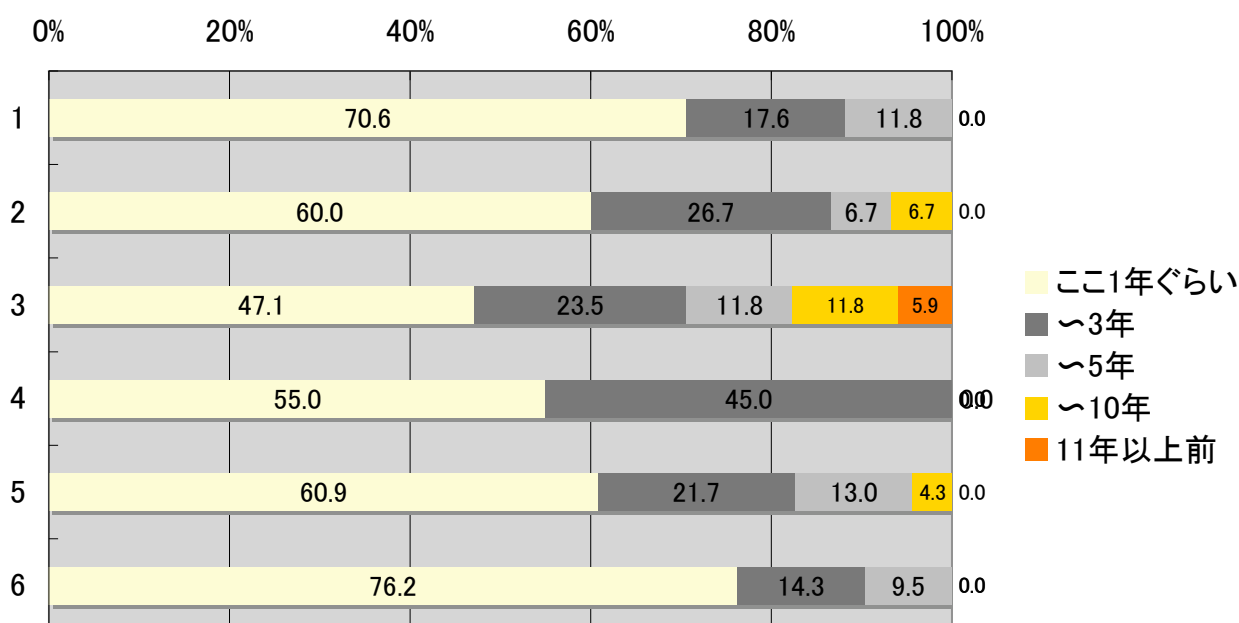
### 3. 職種別「IA」の認知時期に関する傾向

回答者属性（各属性とも31名ずつ）

- 1) Webプロデューサー／ディレクター・Webデザイナー・クリエイター／デザイナー／コーディネーター
- 2) 一般事務／営業事務・総務・企画
- 3) 経営企画／事業企画・経営管理／コンサルタント（会計／戦略など）・コンサルタント（IT関係）
- 4) 広報／IR
- 5) 情報システム・社内情報システム・SE・プログラマ・データベースエンジニア
- 6) 調査／マーケティング

Webプロデューサーやディレクター、デザイナーといった制作側の職種にいる人でも、「IA」について知ったのはここ1年が最も多いようです。一方「過去3年以内に知った人」は、経営企画や広報担当者のグループでした。

（単位：％）



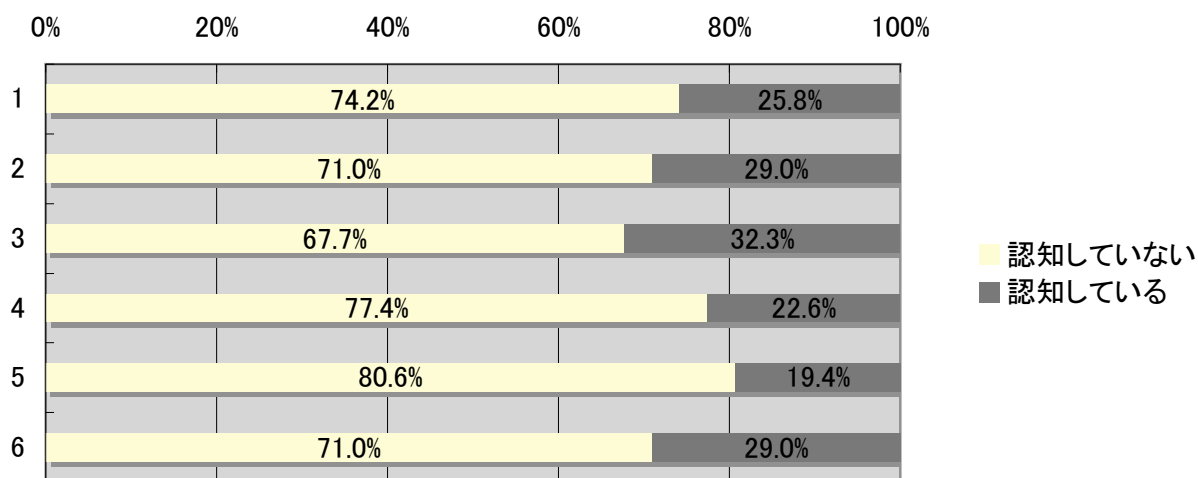
## 4. 職種別「IA」の認知イメージに関する傾向

回答者属性（各属性とも31名ずつ）

- 1) Webプロデューサー／ディレクター・Webデザイナー・クリエイター／デザイナー／コーディネーター
- 2) 一般事務／営業事務・総務・企画
- 3) 経営企画／事業企画・経営管理／コンサルタント（会計／戦略など）・コンサルタント（IT関係）
- 4) 広報／IR
- 5) 情報システム・社内情報システム・SE・プログラマ・データベースエンジニア
- 6) 調査／マーケティング

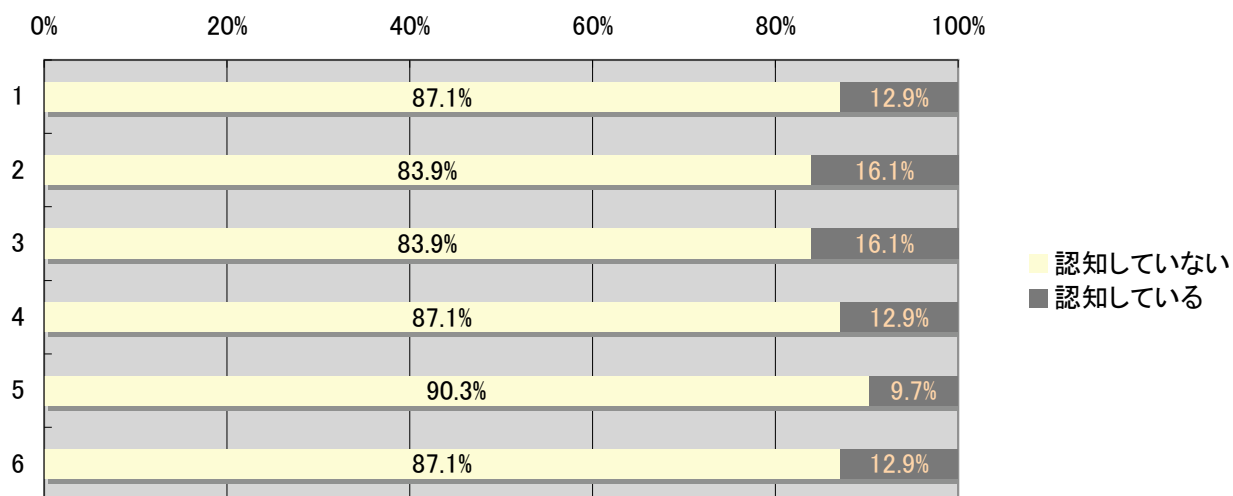
### 4-1. 各職種の人が「IA」を「広報／マーケティング戦略」に関するものとイメージしているかどうか

全体的に、「IA」を「広報／マーケティング戦略」に関するものと捉えていない人が多く、特に認知が低かったのは、情報システム・SE（80.6%）、広報／IR担当者（77.4%）でした。



### 4-2. 各職種の人が「IA」を「ブランド戦略」に関するものとイメージしているかどうか

一般的にブランド戦略との関連が強そうなWebプロデューサーやデザイナーや広報／IR、調査／マーケティングといったセグメントでも、87.1%という高い割合で「ブランド戦略」とは認知しておらず、「IA」が「ブランド戦略」に関係するものという認識は、どのセグメントにもあまり浸透していないようです。



以上